

|                |   |         |          |
|----------------|---|---------|----------|
| <b>PTA活動紹介</b> |   | 高P連受付番号 | 1        |
| PTA(学校)名       | 愛知県立名古屋盲学校PTA   | 部門      | 3        |
| 活動テーマ          | 点字ブロック理解啓発街頭キャンペーン  |         |          |
| キーワード          | 思いやり  | 点字ブロック  | 街頭キャンペーン |
| 開催日            | 平成30年3月12日(月)   |         |          |
| 場 所            | JR・名鉄大曽根駅周辺   |         |          |
| 時 間            | 午前9時30分から午前10時30分まで   |         |          |
| 参加者            | 保護者、教職員、卒業生 25名   |         |          |
| 趣旨             | 視覚障害者が、市街地で安全に歩ける社会を目指して、点字ブロックの大切さを広く市民に呼びかけ、理解を進める。   |         |          |
| 活動ポイント         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノベルティ(点字ブロックの簡単な説明入りポケットティッシュ)を配布し、点字ブロックに対する理解啓発を行う。</li> <li>・メッセージ入のぼり・横断幕を持って、理解啓発を行う。</li> <li>・本校マスコットキャラクター「ナーモ」が参加して、キャンペーンを盛り上げる。</li> </ul> |         |          |
| 主体委員会名・講師名等    | PTA総務委員会  |         |          |

【点字ブロック理解啓発街頭キャンペーン】  
3月18日は「点字ブロックの日」です。  
この日に因んで、今年度で2回目の街頭キャンペーンを行いました。



【点字ブロック理解啓発週間】  
平成30年3月12日(月)から16日(金)  
本校校門付近での横断幕等の掲示をしました。



【街頭キャンペーンを体験して】  
保護者と参加した生徒は、街頭キャンペーン後の感想として「どれだけ点字ブロックを知ってもらえたかどうかは分からないが、中には、何のためのキャンペーンかを立ち止まって聞いてくれる人もいた。通行人の方にノベルティを渡すことが目的ではなく、点字ブロックの大切さを理解してもらうことが目的であることを考えながら、キャンペーンを行わなければならないと思った。」「初めて通行人の方を呼び止めたり知らない人に声をかけたりすることにとっても緊張した。でも、勇気をもって、声をかけることができた。」  
点字ブロックの理解啓発を目指した街頭キャンペーンは、本校の生徒にとっても勇気をもって街頭に向って訴えることの重要さとともに、改めて相手の立場に立って行動することの大切さを考える貴重な機会となった。



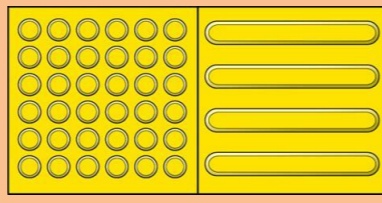
ナーモと一緒にみんなで記念撮影！  
寒い日でしたが500個のポケットティッシュを配りました。



ポケットティッシュの中には、点字ブロックの意義や種類など点字ブロックに関する情報が書かれたチラシを折り込みました。

本校は、両目の視力がおおむね0.3未満又は視機能障害により、拡大鏡を使用しても通常の文字や図形が認識しにくい状態の幼児から成人までの方76名が、自立に向けて様々な学習に取り組んでいます。  
本校PTAは少ない人数ですが、このような視覚障害児・者をできる限り支えようと、いろいろと知恵を出し合い協力して活動しています。

【点字ブロック】  
点字ブロック(正式名称「視覚障害者誘導用ブロック」)は、視覚障害者が足裏の感覚で、進行方向や危険箇所、位置を認識し、安全かつ快適な移動を支援するために、地面や床面に敷設されている突起を表面につけたブロック(プレート)です。現在、歩道や駅、公共施設、企業等において広く設置が進んできています。




【街で目にする光景】  
社会では点字ブロックに対する認識不足により、その上に駐車、駐輪、荷物の放置がされているケースも少なくないです。視覚障害者にとって、点字ブロックが重要であることを理解してもらうとともに、広く社会へ啓発周知を行い、バリアフリー環境の改善を目指す必要性を常々感じています。